

癒やし
の響き
各地で

全盲ピアニスト 聴衆に勇気

【エッセイ「ハーモニー」に 第2弾】

岐阜市出身 桑原さん

可児での演奏会に150人



ピアノを演奏する桑原良恵さん＝可児市下恵土の文化創造センターで

岐阜市出身の全盲のピアニスト桑原良恵さん（18）が21日、可児市下恵土の文化創造センターのホールでコンサートを開いた。会場では約150人が聴き入った。コンサ

ートの第2部で歌ったフオークシンガルの野田淳子さん（京都市在住）は、ピアノの演奏を聴いて「私も勇気づけられた」と話した。桑原良恵さんは、岐阜

市出身。県立盲学校の中学部1年だった昨年11月に、東京都で開かれた全日本盲学生音楽コンクールのピアノ部門で1位。その後も施設などで演奏を続け、岐阜市内の病院で弾き語りをするなどしている。現在、大阪府の府立盲学校音楽科で、ピアノを学んでいる。コンサートでは、アイランドの女性歌手エン

ヤ作曲の「オンリータイム」や、弾き語りを入れたマツチ売りの少女よりの「きらめくクリスマスツリー」を演奏した。最後の曲が終わった後、アンコールを求める拍手が鳴りやまなかった。ステージの後で、桑原さんの母親みどりさん（45）が心配そうに見つめていた。

良恵さんは生まれつき視力が無く、四肢に障害も。みどりさんは、良恵さんに少しでも社会参加させたいと各務原市に住